

確定申告の申告期限は3月15日(火)まで

令和3年分の所得税及び復興特別所得税・贈与税の確定申告の申告期限は3月15日(火)です。個人事業者の消費税及び地方消費税の確定申告期限は3月31日(木)です。

確定申告が必要な人

● 事業所得や不動産所得等がある人で、令和3年1月1日～12月31日までの所得金額の合計額が、基礎控除、配偶者控除、扶養控除などの所得控除の合計額を超える人

● 給与所得者で、▼給与の収入金額が2000万円を超える人 ▼給与・退職所得以外の所得金額が20万円を超える人

年金受給者で申告が不要な人

公的年金などの収入金額が400万円以下で、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下の人は、所得税の確定申告書の提出は不要です。ただし、所得税・復興特別所得税の還付を受ける場合は、確定申告書の提出が必要です。

確定申告が必要ない人でも、市県民税の申告が必要な場合があります。詳しくは、市政だより2月1日号でご案内します。

パソコンやスマートフォンから確定申告(e-Tax)

確定申告書の作成は、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」が便利です。



スマートフォンはコチラから!

会場で確定申告

● 原則、確定申告会場でも、自分のスマートフォンか会場のパソコンで申告書を作成します(不明な点は会場で質問できます)。

● 来場の際は、源泉徴収票などの申告書作成に必要な書類とマイナンバーカードの本人確認書類などが必要です。

● 入場には整理券が必要です。整理券は各会場で当日配付します。無料通信アプリ「LINE」でも事前発行しています。

● 37.5度以上の発熱が認められる人は、入場をお断りします。

● 会場の混雑緩和のため、状況に応じて、後日の来場をお願いする場合があります。

所得税・贈与税・消費税の確定申告相談受け付け		
対象地域	確定申告会場	開設期間・受付時間
● 門司区 ● 小倉北区 ● 小倉南区	AIMビル3階 (小倉駅北側)	2月16日～3月15日の毎週月～金曜日 (祝日は除く、2月20日(日)・27日(日)は開場)9～16時
● 若松区	若松税務署 (若松区本町一丁目)	2月1日～3月15日の毎週月～金曜日 (祝日は除く)9～16時
● 八幡東区 ● 八幡西区 ● 戸畑区	八幡税務署 (八幡東区平野二丁目)	2月1日～3月31日の毎週月～金曜日 (祝日は除く)9～16時

※2月16日～3月15日は、門司・小倉税務署での申告相談は行っていません。
※2月20日(日)・27日(日)は、AIMビル3階で全ての区の申告相談を受け付けます。
※申告会場の状況に応じて早めに受け付けを終了する場合があります。

確定申告などについての問い合わせ

門司税務署	☎321・5831(代表)
小倉税務署	☎583・1331(代表)
若松税務署	☎761・2536(代表)
八幡税務署	☎671・6531(代表)

※1月14日～3月15日は、「確定申告テレホンセンター」を開設しています。確定申告に関するご相談は、音声案内【0】を選択してください。

確定申告とあわせてマイナンバーカードの申請を
問 市民文化スポーツ局戸籍住民課 ☎582・2107

マイナンバーカード申請窓口を確定申告会場内に設けます。窓口では「顔写真の無料撮影」と「申請書の記入支援」を行います。

● AIMビル3階(小倉駅北側) 2月20日(日)・27日(日)の10～15時

● 八幡税務署 2月7日(月)・16日(水)の10～15時

● 共通のマイナンバーカードを初めて申請する人。マイナンバーの「通知カード」と「個人番号カード交付申請書」をお持ちの人はご持参ください。

毎月第2・最終日曜日は区役所市民課をマイナンバーカード申請交付手続きのため開庁しています(8時30分～12時)。

詳しくは
コチラから!



「若戸大橋」と「百年庭園の宿 翠水(旧旅館田川 離れ)」の国文化財指定・登録が決定しました

昨年11月、若松区と戸畑区を結ぶ「若戸大橋」が国の重要文化財に指定されることが決まりました。また、アートホテル小倉ニユータガワ(小倉北区古船場町)の庭園内に建つ離れ客室「百年庭園の宿 翠水」4棟(渡り廊下含む)が国の登録有形文化財に登録されることが決まりました。

動員された労働者は延べ約61万人。東京タワー5つ分に当たる約2万トンの鉄鋼が使われ、赤色に塗られたのは「威厳を示すため」とも言われています。

昭和37年(1962年)に工事が完了した時には、「東洋の夢のつり橋」と呼ばれ、その技術が後の関門橋や明石海峡大橋などの建設に生かされており、今回、歴史的にも技術的にも重要であることが評価されました。

百年庭園の宿 翠水(旧旅館田川 離れ)

「百年庭園の宿 翠水」4棟は、昭和37年(1962年)に「株式会社旅館田川」が大規模な増改築を行った際、同時に増築または改築されたものと考えられています。

登録が決定したのは、三棟の離れと一棟の渡り廊下です。日本の伝統的な数寄屋建築の素材や技法を生かしつつ、近代的な設備やデザインが取り入れられており、部屋ごとにテーマを持った工夫が凝らされていることなどが評価されました。

昨年6月には、部屋の一つが囲碁の最高峰タイトル戦「本因坊戦」の第4局東アジア文化都市北九州2020▼21開催記念大会の対局会場にも選ばれました。



▲百年庭園の宿 翠水全景

▲若戸大橋全景

沿革と評価された点

若戸大橋

大正から昭和にかけて、八幡製鉄所を中心とした工業の発展に伴い、洞海湾を行き来する貨物船の過密化が進む中、若松と戸畑を結ぶ渡船に代わるものとして、「若戸大橋」が建設されました。着工は昭和34年(1959年)。



▲ライトアップされた若戸大橋

▲若戸大橋(下から)

▲建設時の若戸大橋



▲翠水「渡り廊下」

▲翠水「企数」外観

問 市民文化スポーツ局文化企画課 ☎582・2391